

平成26年度  
(第2事業年度)

## 事業報告書

平成26年4月1日から  
平成27年3月31日まで

公益財団法人河野臨牀医学研究所

## 平成 26 年度事業実績

### (はじめに)

平成 26 年度は、公益財団法人移行後 2 年目にあたるが、ますます厳しくなる医療環境に対応しつつ、研究と医療の一体化を進めるとともに、老朽化した施設の整備を進めるため経営基盤の強化に努めた。

経営環境としては、医療費抑制政策に基づき診療報酬改定は横ばいで、2025 年に向けた医療提供体制の再構築、在宅復帰促進のための地域包括ケアシステムの構築を図る狙いが打ち出され、大手病院を中心に競争が激化し、厳しい状況となった。

更に利便性が高い当地区には、専門病院等の進出が相次ぐ状況となっている。高齢者は年金引下げ、医療費の自己負担増加から、受診抑制が見られた。

産業労働の面、メンタルヘルス対策の充実・強化を目的として、事業場でのストレスチェックの実施義務化を求める労働安全衛生法が改正された。

消費税率が引き上げられ、電気料金等物価の上昇があり、大都市部においては景気の回復傾向を背景に人件費が上昇傾向と、費用が増加する環境になった。

当財団としては、環境の変化に対応して、事業を進めるため、地域ニーズの高い、高齢者の合併症等による難治性疾患、高齢者救急化、予防、地域医療に積極的に取り組んだ。大学等と連携し、医療体制等の強化を進めた。

高齢化に伴う医療面の期待に応え、地域と連携して、質の高い医療を提供すべく、品川区の用地活用の公募に対し、病院の移転と老健等との複合化による、一貫したリハビリテーションの提供、介護等の人材育成等の事業提案をおこなったところ、提案が選定された。

メンタルヘルスについては、従前からの「組織診断」の考え方による予防医学の研究を活かし、法改正以前からメンタルヘルス対策の予防、研究を進めている。

また、今後研究・医療のクオリティーを支える投資を継続的に実行するためには、財政基盤の強化が必要であることから財務の改善を進めた。

### (事業活動)

#### 1 難病その他治療困難な疾患の医学的研究事業(公1)

##### (1) 基礎医学研究

再生医学の進歩に貢献することを重点に取り組んだ。

胆道閉鎖症肝由来細胞を用い再生医療への応用を目指す基礎医学研究の充実及び東京女子医科大学整形学科と連携して軟骨細胞の分化に及ぼす滑液の効果について研究を進めた。

黄色ブドウ球菌性表皮剥脱毒素と受容体ガングリオシドの結合解析の研究も引き続き進めた。

また臨床医学研究の推進のため、専門研究員による臨床部門の研究者への支援をあわせて行った。

## (2) 臨床医学研究

科学的根拠に基づく医療を進めるため、従前からの継続研究に加え、新しい治療法について検査法や効果等の安全性、有用性更に QOL を高める臨床研究を引き続き進めた。

糖尿病の重症化予防対策として治療・合併症に関わる臨床研究を進め、薬物療法の効果と限界等について検討を進めた。

リハビリテーションについては東京慈恵会医科大学と連携し、回復期脳卒中患者の rTMS の効果についての研究に参画した。リハビリテーションの質の向上に対する貢献としてデータ蓄積、応用の検討など研究の充実を進め、学会等での発表を増やした。

骨粗鬆症や変形性関節症対象の治験については一部期間を延長して取組み、毎月治験審査委員会を開催して研究を進めた。難治性疼痛等の整形外科疾患については専門的能力を高める医師体制の強化を図りつつ進めていく。

## (3) 予防医学研究

予防医学センターでは、「企業等の組織診断」の概念を導入した予防医学研究を引き続き行い、疾患の発生を抑えるための様々な受診者情報を集積し、早期発見、より有効な疾病予防対策の確立に向け事業を進めている。

さらに常勤医師 2 名を確保し、メンタルヘルス対策、女性の健康対策等幅を広げて取組を進めた。

また研究成果を活かし、啓蒙活動、産業医活動等で還元した。様々な雑誌等でも脳機能の研究等を基にした予防策などが多く取り上げられた。

## (4) 研究成果の普及・啓発

・紀要（年報 Vol.64、英文機関誌 Vol.31）については、対象期間を事業年度と併せる変更を行い、平成 27 年 4 月 1 付で 2014 年、2015 年版を刊行とした。

・学会等での発表 9 件、その他地域啓発誌『北品川メディカルタウン』発行、

外来患者向けには禁煙通信・外来インフォメーションを毎月発行、その他各施設で最新の医療情報の提供に努めた。

- ・品川シルバー大学、医師会の勉強会、記念講演等広く健康に関する啓蒙活動特に研究成果に基づく健脳習慣の提唱及びロコモティブシンドロームの啓発による予防対策について引き続き情報発信を行った。
- ・地域の宿場祭り、商店街の親子訓練に看護師等参画して、健康相談や医療機器使用の講習等を行った。

#### (5) 教育・研修

- ・第54回河医研医学会総会（研究発表会）を平成27年2月19日に開催、昨年にも引き続いてポスターセッション方式を導入したこともあり発表がさらに32題に増え活発な議論がなされた（208名が参加した）。  
さらに、質疑応答等をより活発に進めるため総会の発表演題から8題を選出し、より深い内容での研究会を27年3月27日に開催した。
- ・品川区リハビリテーション・ネットワークを3回開催し、症例検討、グループ討議、講演会を実施した。
- ・救命救急士再教育実習（5名）、その他リハビリテーションスタッフ臨床実習、介護職研修等を実施した。

## 2 医療施設等の運営

### (1) 附属第三北品川病院

地域のニーズに応え、高齢者救急の強化に取り組み、年間約3万台の受入が約3万2千台と増えた。ニーズの高い夜間の整形、脳神経外科医師体制強化を逐次進めている。

医師体制の強化として、大学、専門病院との連携を強化し、内科、脳神経外科、整形外科（肩・肘）、麻酔科（難治性疼痛）等の医師確保を進めた。

総合カンファランスの実施等、医療の質の向上、看護、看護補助者の質の向上に努めた。

地域の病病連携、病診連携、病介護・福祉連携を図り、高額機器の有効活用、早期診断等に取り組んだ。後発薬の活用を進め、80%以上の実績となった。

品川区等と連携し、地域の防災体制の強化等にも貢献した。

電子カルテ移行等医療情報システムの強化については、準備等の都合で平成27年度上半実施となった。

急性期医療の改革の最中にあり、抜本的な対応を図るべく、戦略会議等開催して改革等を進めている段階。

## (2) 附属北品川病院

東京慈恵会医科大学とのリハビリテーション研究等の連携強化による取組みの強化を進めた。木曜日のリハビリテーションを進め、段階的に取組みの強化を図っている。

昭和大学病院の協力病院としてさらに脳卒中連携の推進強化を進めた。更に整形分野での地域連携等の取組みを図っている。

急性期から療養まで一貫したリハビリテーション研究、診療を進め、各医療機関等との地域連携を深め、新しい治療法について評価をしながら、医療・QOLの質の向上を図った。

老朽対策及び多様なニーズに応え、病床等強化し、地域包括ケアシステムの構築にも貢献する、公共用地を活用した複合施設建設については、用地の目途が立ち、いよいよ本格的な詳細実施計画策定の段階に入った。

## (3) 附属北品川クリニック（予防医学センター）

「組織診断」という考え方で組織及び受診者情報を集積し、還元しながら事業を進めた。脳梗塞リスク評価及び情報提供などを進め、さらに感染防止に努め、質を重視した取組を行った。

業務については品質向上と効率的な運営を図るべく標準化、検査フロアの見直し、検診車の見直し等様々な視点で改革を進めた。内視鏡検査及び放射線画像の読影については、北里大学消化器内科と連携するなど体制の強化に努めた。

メンタルヘルス相談など地域のニーズが高まっており、従前からの組織診断の研究を活かし取組み強化を図った。

以上により、業績は成長の目途が立ってきた。

## (庶務事項)

### 1 職員の働きやすい環境整備

顧問社会保険労務士と毎月労務管理改善の検討会を進めている。人事制度の抜本改正案に向けた準備、各種規則の見直し等検討を進めた。

### 2 主な設備投資の実施内容

投資計画 150 百万円に対し、電子カルテ導入等のシステム投資が準備の都合で 27 年度初旬に延期したことから、リース資産投資含め 71 百万円の投資を実施。

医療用機器については、東京都の補助金（4,320 千円）を活用してデジタルマンモグラフィ CAD システムを導入、また新しい医療への取組として電磁刺激装置を購入、内視鏡検査充実の為の機器等の投資、デジタル化への移行投資、検診車の搭載機器デジタル化（平成 27 年度 JKA 補助事業も申請したところ、内定を

受けた)などの戦略投資を実施(36百万円)。

なお、老朽化の検診車2台を売却、売却益(5百万円強)等は特定資産として(さわやか信用金庫10百万円定期預金)、27年度の検診車取得の自己資金分に留保した。

エレベーターの改修工事等老朽対策、老朽機器代替を行った(32百万円)

その他パソコン等の代替等を行った(3百万円)

昨年は消費税率上昇前で積極的に整備を進めたが、本年度は、電子カルテ移行等のシステム投資が平成27年度に延期したこともあり、最小限の投資となった。

### 3 財務体質の改善

病院等建設の目途が立ったことから、今後の大型投資を円滑に進めるべく、手元資金の強化を図った。低利環境を活用し当初計画の長期借入金調達を2億円から7億円に増やした(内1億5千万円は27年度の情報システム準備金として、4億5千万円は病院移転に伴う売却相当額内での自己資金化の意味合い)。借入増加による、金利負担の軽減を図るため、駐車場の見直し等の経費合理化を実施した。

一時的過剰流動性対策として、期末で買掛負債等の一時的(支払サイトは変更しない)繰上げ支払や源泉税等の期末支払等154百万円実施、債務削減を図った。

収益は、消費税率上昇等の影響はあるも、貸倒引当金(1年超の窓口未収金に対する債権評価を厳格化下)積み増し、退職給付等積み増しを行っても、経常収益を確保し、流動性比率も200%以上を確保するなど財務健全化を進めることができた。

引き続き一層の運営見直し、収入対策、費用構造の改革等を進め、大型投資や各種整備等が円滑にできるよう図っていく。

### 4 その他

北品川クリニックの境界線確定を行い、すべての保有地の境界線が確定した。  
(地籍更正登記完了)

平成27年6月

公益法人河野臨牀医学研究所

# 1. 貸借対照表

平成27年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	748,227,058	355,653,307	392,573,751
医業未収金	435,710,461	463,430,155	△ 27,719,694
未収金	10,407,288	9,763,138	644,150
医薬品	10,947,180	10,408,988	538,192
診療材料	12,753,609	12,247,494	506,115
前払費用	6,660,429	6,204,304	456,125
その他	4,255,431	3,364,980	890,451
流動資産合計	1,228,961,456	861,072,366	367,889,090
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			0
預金(特定資産)	10,000,000	0	10,000,000
特定資産合計	10,000,000	0	10,000,000
(3) その他固定資産			0
建物	504,148,796	543,861,403	△ 39,712,607
付属設備	325,618,618	331,486,276	△ 5,867,658
構築物	14,287,904	14,784,796	△ 496,892
医療用器械備品	192,498,043	201,107,157	△ 8,609,114
その他器械備品	28,772,331	38,656,322	△ 9,883,991
車輛運搬具	27,979,025	49,831,088	△ 21,852,063
土地	354,495,947	354,495,947	0
建設仮勘定	0	8,500,000	△ 8,500,000
ソフトウェア	2,181,172	16,435,312	△ 14,254,140
敷金	10,651,400	10,835,700	△ 184,300
出資金等	560,100	560,100	0
その他固定資産合計	1,461,193,336	1,570,554,101	△ 109,360,765
固定資産合計	1,481,193,336	1,580,554,101	△ 99,360,765
資産合計	2,710,154,792	2,441,626,467	268,528,325

(単位:百万円)

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	19,602,785	97,262,241	△ 77,659,456
未払金	88,885,184	191,082,697	△ 102,197,513
未払消費税	20,669,600	4,918,800	15,750,800
未払費用	41,913,402	41,446,120	467,282
従業員預り金	5,799,651	15,977,259	△ 10,177,608
短期借入金	0	82,009,000	△ 82,009,000
1年以内返済長期借入金	272,588,000	174,048,000	98,540,000
リース債務	54,989,115	64,284,618	△ 9,295,503
賞与引当金	71,875,000	80,128,500	△ 8,253,500
預り金他	17,309,105	22,531,501	△ 5,222,396
流動負債合計	593,631,842	773,688,736	△ 180,056,894
2. 固定負債			
従業員預り金	1,200,000	0	1,200,000
長期借入金	1,374,895,000	947,483,000	427,412,000
リース債務	136,768,654	176,288,380	△ 39,519,726
退職給付引当金	208,214,800	176,752,492	31,462,308
固定負債合計	1,721,078,454	1,300,523,872	420,554,582
負債合計	2,314,710,296	2,074,212,608	240,497,688
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	54,597,267	36,964,500	17,632,767
民間補助金	8,452,500	12,862,500	△ 4,410,000
受取寄附金	35,750,000	44,999,961	△ 9,249,961
指定正味財産合計	98,799,767	94,826,961	3,972,806
2. 一般正味財産	296,644,729	272,586,898	24,057,831
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(10,000,000)	0	(10,000,000)
一般正味財産合計	296,644,729	272,586,898	24,057,831
正味財産合計	395,444,496	367,413,859	28,030,637
負債及び正味財産合計	2,710,154,792	2,441,626,467	268,528,325



## 2. 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,500	3,353	△ 853
基本財産受取利息	2,500	3,353	△ 853
事業収益	3,293,357,497	3,331,366,431	△ 38,008,934
受取補助金等	31,374,240	38,219,581	△ 6,845,341
受取補助金等	8,902,046	8,243,922	658,124
受取寄付金	1,125,000	13,470,000	△ 12,345,000
指定正味財産から振替	21,347,194	16,505,659	4,841,535
雑収益	26,941,375	29,594,188	△ 2,652,813
その他雑収益等	26,941,375	29,594,188	△ 2,652,813
<b>経常収益計</b>	<b>3,351,675,612</b>	<b>3,399,183,553</b>	<b>△ 47,507,941</b>
(2) 経常費用			
材料費	269,133,091	283,505,782	△ 14,372,691
給与費	2,126,854,646	2,098,842,756	28,011,890
役員報酬	23,406,412	24,081,864	△ 675,452
給料	1,621,501,442	1,589,946,424	31,555,018
賞与	85,500,000	88,980,000	△ 3,480,000
賞与引当金繰入額	61,373,000	69,846,000	△ 8,473,000
退職給付費用	59,255,428	58,098,000	1,157,428
法定福利費	234,484,447	226,009,262	8,475,185
通勤交通費	41,333,917	41,881,206	△ 547,289
委託費	302,159,727	335,434,181	△ 33,274,454
設備関係費	328,936,483	358,151,002	△ 29,214,519
減価償却費	172,965,487	209,516,351	△ 36,550,864
器機保守料等	155,970,996	148,634,651	7,336,345
研究研修費	6,242,525	5,944,100	298,425
経費	299,630,699	290,882,334	8,748,365
福利厚生費	12,506,656	12,422,856	83,800
旅費交通費	3,309,125	3,359,142	△ 50,017
通信運搬費	13,735,285	14,110,013	△ 374,728
消耗品費	34,005,750	31,330,428	2,675,322
消耗器具備品費	8,879,136	7,869,615	1,009,521
印刷製本費	4,322,276	9,045,973	△ 4,723,697
光熱水料費	79,652,303	77,003,834	2,648,469
諸謝金	4,685,089	5,746,893	△ 1,061,804
租税公課	613,230	1,040,757	△ 427,527
求人費	17,751,346	22,985,362	△ 5,234,016
保険料	6,965,167	8,171,548	△ 1,206,381
その他経費	25,712,367	26,077,671	△ 365,304
支払利息	23,612,101	27,376,064	△ 3,763,963
控除対象外消費税等負担額	63,880,868	44,342,178	19,538,690
<b>経常費用計</b>	<b>3,332,957,171</b>	<b>3,372,760,155</b>	<b>△ 39,802,984</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	18,718,441	26,423,398	△ 7,704,957
投資有価証券売却益	0	2,418,000	△ 2,418,000
評価損益等計	0	2,418,000	△ 2,418,000
<b>当期経常増減額</b>	<b>18,718,441</b>	<b>28,841,398</b>	<b>△ 10,122,957</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	5,407,246	1,294,719	4,112,527
固定資産税還付	0	63,211,800	△ 63,211,800
<b>当期経常外収益計</b>	<b>5,407,246</b>	<b>64,506,519</b>	<b>△ 59,099,273</b>
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	67,856	128,070	△ 60,214
<b>当期経常外費用計</b>	<b>67,856</b>	<b>128,070</b>	<b>△ 60,214</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>5,339,390</b>	<b>64,378,449</b>	<b>△ 59,039,059</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>24,057,831</b>	<b>93,219,847</b>	<b>△ 69,162,016</b>
一般正味財産期首残高	272,586,898	179,367,051	93,219,847
一般正味財産期末残高	296,644,729	272,586,898	24,057,831
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金・寄付金	25,320,000	3,000,000	22,320,000
一般正味財産への振替額	△21,347,194	△16,505,659	△ 4,841,535
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>3,972,806</b>	<b>△13,505,659</b>	<b>17,478,465</b>
指定正味財産期首残高	94,826,961	108,332,620	△ 13,505,659
指定正味財産期末残高	98,799,767	94,826,961	3,972,806
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>395,444,496</b>	<b>367,413,859</b>	<b>28,030,637</b>

## 5. 財 産 目 録

平成27年3月31日現在

(2-1)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金及び預金	手元保管現金 当座預金(商工中金 他) 普通預金(りそな銀行 他) 通知預金(商工中金) 定期預金(商工中金 他) 郵便振替(ゆうちょ銀行)	公益目的事業の運転資金として 公益目的事業の運転資金として 公益目的事業の運転資金として 公益目的事業の運転資金として 公益目的事業の運転資金として 公益目的事業の運転資金として	2,472,715 292,466,502 317,105,997 129,600,000 6,500,000 81,844
		(現預金 計)	(748,227,058)
医業未収金	社会保険診療報酬支払基金 他	公益目的事業実施に伴う短期債権	453,602,641
貸倒引当金	医業未収金に対するもの	公益目的事業実施に伴う短期債権の貸し倒れに備えたもの	△17,892,180
未収金	治験等の未収金に対するもの	公益目的事業実施に伴う短期債権	10,407,288
医薬品	㈱スズケン 他	公益目的事業の在庫	10,947,180
診療材料	㈱富士フィルムメディカル 他	公益目的事業の在庫	12,753,609
前払費用	前払賃借料 他	公益目的事業実施に伴う短期債権	6,660,429
その他流動資産	治験受託の未収収益 他	公益目的事業実施に伴う短期債権	4,255,431
<b>流動資産 合計</b>			<b>1,228,961,456</b>
<b>(固定資産)</b>			
基本財産			
定期預金	三菱東京UFJ銀行五反田支店	管理運営に供する財産	10,000,000
特定資産			
車輛運搬具取得資金	定期預金(さわやか信用金庫品川支店)	公益目的事業に供する検診車購入準備金	10,000,000
その他固定資産			
建物	1574.56㎡ 附属北品川クリニック、財団事務局 東京都品川区北品川1丁目66番地3 鉄骨鉄筋コンクリート陸屋根地下1階地上7階建	(共用財産) うち公益目的保有財産 97% うち管理運営に供する財産 3%	(26,757,730) 25,954,998 802,732
建物	5,112.62㎡ 附属第三北品川病院 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート造 陸屋根地下2階 地上5階建 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	457,415,216
建物	3113.56㎡ 附属北品川病院 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨 陸屋根地下1階 地上11階建 東京都品川区北品川3丁目194番地の1 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	553,213
建物	446.06㎡ 研究所 鉄筋コンクリート 陸屋根地下1階 地上3階建 東京都品川区北品川3丁目195番地29	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	19,422,637
付属設備	電気設備 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	325,618,618
構築物	浄化槽 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	14,287,904
医療用器械備品	医療用器械 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	192,498,043
その他器械備品	事務用機器 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	28,772,331
車輛運搬具	検診車 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	27,979,025

(2-2)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
土地	312.44㎡ 附属北品川クリニック 財団事務局 東京都品川区北品川1丁目66番3	(共用財産) うち公益目的保有財産 97% うち管理運営に供する財産 3%	(5,500,000) 5,335,000 165,000
土地	1,546.82㎡ 附属第三北品川病院 東京都品川区北品川3丁目194番98 他 4筆	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	291,920,242
土地	858.77㎡ 附属北品川病院 東京都品川区北品川1丁目37番の1 他 4筆	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	35,075,705
土地	163.07㎡ 研究所 東京都品川区北品川3丁目194番29	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	22,000,000
ソフトウェア	医療情報システム 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	2,181,172
敷金等	看護師・医師寮 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	10,651,400
出資金	さわやか信用金庫 他	管理運営に供する財産	510,100
		(その他固定資産 計)	(1,461,193,336)
固定資産合計		うち公益目的保有財産 うち管理運営に供する財産	(1,481,193,336) 1,469,715,504 11,477,832
資産合計			2,710,154,792
(流動負債)			
買掛金	東邦薬品(株)に対するもの	公益目的事業に供する薬品・医療材料購入等の未払分	19,602,785
未払金	㈱保健科学研究所他に対するもの	公益目的事業に供する検査料等の未払分	88,885,184
未払消費税			20,669,600
未払費用	従業員に対するもの	公益目的事業の給料等の未払分	41,913,402
従業員預り金	職員に対するもの	公益目的事業の住民税等の預り分	5,799,651
1年内返済長期借入金	商工中金大森支店 他	公益目的事業に供する借入分	272,588,000
リース債務	医療機器他に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に使用している機器等の債務	54,989,115
賞与引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である	71,875,000
その他流動負債	患者他(入院時保証金等)	公益目的事業実施に伴う短期債務	17,309,105
流動負債合計			593,631,842
(固定負債)			
従業員預り金	職員に対するもの	公益目的事業の医師寮敷金相当の預り分	1,200,000
長期借入金	商工中金大森支店 他	公益目的事業に供する借入分	1,374,895,000
長期リース債務	医療機器他に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に使用している機器等の債務	136,768,654
退職給付引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である	208,214,800
固定負債合計			1,721,078,454
負債合計			2,314,710,296
正味財産			395,444,496